

国立病院機構九州医療センター
血液内科レジデント 原田 卓哉
生年月日：昭和 63 年 6 月 30 日

「JALSG Young Investigator ASH Travel Award 2017 に参加させて頂いて」

JALSG Young Investigator ASH Travel Award 2017 に採択して頂き、初めての海外学会の参加をさせて頂き大変感謝しております。先輩方より ASH で発表されている内容は現時点での血液学の最先端の部分であり、今後の新規治療・疾患概念など様々な内容の発見があると伺っており非常に楽しみにしておりました。

実際の学会では、期待通り最新の基礎研究から臨床研究など多岐にわたる発表を聞くことができ、大変勉強になりました。特に現在は白血病の原因遺伝子・蛋白等の網羅的な解析から導かれた遺伝子・蛋白質に対する研究や治療薬の開発、また新規治療薬として期待される BCL-2 阻害剤(Venetoclax)・PD-1 阻害剤等の分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬の使用または併用による既存の化学療法を含まない治療法の開発と安全性の評価、または CAR-T 療法もより多くの疾患への適応を目指し研究が行われていることが分かりました。また、Plenary session においては、Hodgkin's lymphoma への初発治療が A+AVD と ABVD 療法で Brentuximab vedotin を使用された A+AVD 群において PFS が延長するといった臨床判断における重要な臨床研究もあり、今後の臨床上で非常に重要な内容も含まれており非常に興味深かったです。

また、教育講演においては様々な疾患に対する疾患概念の解説から治療法・予後に関してまで含む内容を 20 分程度でまとめられており、非常に勉強になりました。内容に関しても 2017 ASH で発表される内容も含まれており最先端の知識まで整理されており分かりやすい解説でありました。

その他にもポスターセッションにおいても様々な基礎研究から臨床研究の内容を活発にディスカッションされており非常に質問しやすく理解が深まるセッションで興味深かったです。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった JALSG 及び関係者の皆様に御礼を申し上げます。ASH に実際に参加し今後は自分が発表をできるように日々臨床と研究に活発に取り組んで行きたいと考えております。